

ご挨拶

平素は、環境行政に多大なご協力を賜り、感謝申し上げます。

環境問題は、地球全体の課題となっております。地球温暖化、廃棄物問題、生物多様性の保全など様々な環境問題を解決し、持続可能な社会を構築するためには「国民一人ひとりがどう取り組むか」が重要であり、できるだけ早い段階から環境教育に取り組んでいくことが重要であると考えます。

平成26年11月、日本政府とユネスコの共催により、「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」が愛知県名古屋市・岡山県岡山市で開催されました。その会議の中で、今後、次世代を担うユースの能力育成を図ることが重要との指摘があり、同年12月に国連総会で採択された「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラム」においても、「ESDへのユースの参加の支援」が優先行動分野の一つとして位置付けられました。

こうした経緯を踏まえ、この度、環境省と独立行政法人環境再生保全機構において「全国ユース環境ネットワーク促進事業」を創設しました。本事業は、ユースに対して、志を同じくする仲間や先輩等との交流や、活動を通じて得た学びを共有するネットワークを形成し、もってユースの能力開発を図ろうとするものです。

今般、その事業の一環として「全国ユース環境活動発表大会」を行うこととしました。本年度は、初年度ということもあり、高校生を対象として全国から環境活動を募集し、来年2月に行われる大会において、各自の創造力を生かした実践を発表いただきたいと考えております。

皆様方、特に学校関係者の方におかれましては、本事業の趣旨をご理解いただき、積極的な参加について格別のご配慮をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



環境省総合環境政策局長

三好 信俊